

愛ちゃん と 希望くん

じぶんの町を良くする
しくみ

© 中央共同募金会

地域の福祉、みんなで参加
10月1日から12月31日まで
実施しております。みなさまのご協力をお願いいたします。

**赤い羽根
共同募金**

とくしま
福祉広報
179号
september.2014

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/

ボランティア・NPOの情報紙
28号 september.2014

とくしま県民活動プラザ
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345
e-mail:info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
http://www.tokuv.jp

マスコットキャラクター プラザ

特集 NPO法人 美郷宝さがし探検隊
社協の総合相談支援対応力向上事業

ひと 人間だから通じ合える
徳島県青年海外派遣の会 (TIYEA)
会長 山田 憲さん

シリーズ・このひとから
夏子いなか市 祖父江 利江さん
笑顔と繋がりを大切に！
勝浦町社協 平山 一代さん

連載 [福祉教育いろは塾] 福祉教育の実践
日本福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科
准教授 野尻 紀恵さん

ハートリレー
No.28 新居さんから長谷川さんへ

New face
NPO法人赤い屋根 上板
西條 仁さん・本浄 敏之さん

NPO法人 美郷宝さがし探検隊

今回の特集は、美郷の宝であるホテルやシバザクラなどを活かして地域を盛り上げようと、さまざまなアイデアとおもてなしの心を持って活動するNPO法人「美郷宝さがし探検隊」をご紹介します。



美郷廻り踊りでのNPO法人美郷宝さがし探検隊のみなさん（美郷ほたる館にて）

災害ボランティアセンターのうごき

■ 阿南市災害ボランティアセンター
開設場所：阿南市市民会館
開設期間：8/4～8/20
ニーズ累計：124件
ボランティア数：598名（延べ）
県内社協派遣者数：32名（延べ）
県社協等派遣者数：県外15名・県内29名

■ 海陽町被災地支援ボランティアセンター
開設場所：海陽町海部庁舎
開設期間：8/4～8/22
ニーズ累計：95件
ボランティア数：403名（延べ）
県内社協派遣者数：52名（延べ）
県社協等派遣者数：県外21名・県内23名

■ 那賀町災害ボランティアセンター
開設場所：鷲敷中央公民館
開設期間：8/13～8/24
ニーズ累計：261件
ボランティア数：1,260名（延べ）
県内社協派遣者数：94名（延べ）
県社協等派遣者数：県外82名・県内34名

地域の復旧に向けて

このたびの台風十一・十二号の豪雨により、県下各地域で多数の家屋被害や農作物被害等に見舞われました。

特に、大きな浸水被害を受けた阿南市・海陽町・那賀町の各社会福祉協議会並びに県社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターを設置し、被災者支援に取り組んで参りました。

センターの運営に当たり、多くの関係者の方々のお力添えをいただきますとともに、県内外から延べ二千二百名を超えるボランティアの皆様方のご参加をいただき、厚く感謝申し上げます。

社会福祉協議会では、引き続き継続的な被災者支援に努めて参りますので、皆様方には被災地域の復旧に向けて、今後ともご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

徳島県社会福祉協議会 会長 岸 一郎





思いついたらやる!

隊長(理事長) 棟本 誠二さん

私のモットーは「思いついたらやる」です。シバザクラ祭り開催を思いついたのは、高開の石積みの修復や手入れをしている際に、シバザクラの美しさに気づいた時でした。さっそく、NPO法人美郷宝さがし探険隊の定例会で提案し、みんなで団結してシバザクラ祭りを開催しました。

私たちの良いところは、何か思いついたアイデアがあればみんなで出し合い、話し合ってから行動するところです。今まで新しいアイデアを提案して反対されたこともあります。周りを説得し、思いついたことは全て実行してきました。実際にやってみて失敗したことはありません。何でもやってみないとわかりませんし、もし失敗したとしても、反省して次に活かせばいいんです。まずは、行動することが大事です。



これからもより多くの方に美郷に来て楽しんでいただけるよう、新しいアイデアを出し合い、活動していきたいと考えてます。

「思いついたらやる!」素晴らしいモットーだと思います。取材をさせていただいて棟本さんの考え方や行動力は見習わなければいけないと感じました。この行動力が美郷の活性化につながっていると思います。

シバザクラ祭りのウォーキングイベントに参加した際、お茶とニッキの葉で香りをつけたお饅頭でもてなしていただきました。リピーターが多いのは高開さんをはじめ、美郷に住む方の人柄・雰囲気にかかっているのではないかと感じました。



宝を活かして美郷を守る!

様々なアイデアとお接待の心を持って笑顔で活動するみなさんをご紹介します

みんなでわいわい。人の輪が好き。

高開の石積み管理 高開 文雄さん

石積みづくりや管理を約60年間続けています。今まで活動を続けてこれたのは、わいわいと元気よく騒いでいる人の輪が好きだからです。もともとシバザクラは鑑賞のためではなく、石積みの土砂の流失を防ぐために植えていたんです。それがいつしか地元の人が美しさに注目し、今では多くの方が高開までシバザクラを見に来るようになりました。現在、高開には4軒しか家がありません。そんな中、多くの人が足を運んでくれるのは嬉しいですね。だから毎朝、石積みにゴミが落ちてないか、つまづきそうな石がないか確認し、シバザクラを見に来た人達をおもてなしの心でお接待しています。



また、全国から学生を家に招き、実際に石積みづくりの体験を通して、石積みの技術を教える活動もしています。来てくれた学生を自分の子どものように思っています。人は一人では生きていけません。誰でも歓迎して、みんなでわいわいと協力しながら人に好かれる年の取り方をしたいですね。



初めて高開さんの手を見た時には驚かされました。すごく大きな職人の手でした。これが60年間高開の石積みを守り続けてきた手なんだと感動しました。これからも美郷の宝を守り、伝えていってください。

おもてなしで嬉しい出会い

お接待 高開 峰子さん

夫(文雄さん)が石積みの管理・手入れをしているので、私はシバザクラを見に来てくれたお客さんに、お茶や手作りのお饅頭を出したりしておもてなしをしています。観光に来てくれた方たちが喜んでくれ、何度も足を運んでくれる方も多くいるので、おもてなしをしているうちに顔見知りになることがうれしいです。

総合案内所的な「おもてなし」

美郷ほたる館 館長 武田 彰仁さん

NPO法人美郷宝さがし探険隊が美郷ほたる館の指定管理を受け、協力者を募集していたのを見て、これからの人生を美郷の活性化に役立てればと思い活動に参加しました。

美郷をよく知る地元のNPOが指定管理を受けたことにより、単なる施設の維持管理のみでなく、梅の花、シバザクラ、ホタル、梅酒、高開石積みライトアップなど美郷の四季折々に関する全てのことに対応できる総合案内所的な役割ができています。美郷のことでわからないことがあれば、美郷ほたる館に聞けば大丈夫という環境をつくっています。

以前に、東京から来られたおばあちゃんが、空港でほたる祭りのポスターを見て問い合わせしてくださいました。説明すると美郷まで来てくださり、その時期に一番ホタルが飛んでいるポイントに案内しました。そのおばあちゃん



さんは「生まれて初めてホタルを観賞し感動しました」と帰りには手を握り、お礼を言ってくださいました。おもてなしをしていると、こういうことがたくさんあるのが嬉しいところですよ。

美郷に関する問い合わせには、ほとんどのことは即答できるそうです。これも、地元のNPOが指定管理を受け、地域一体で活動しているからこそその賜物ではないでしょうか。



美郷ほたる館

住所: 〒779-3501 徳島県吉野川市美郷字宗田 82-1
 開館時間: 9:00~16:30
 5月20日~6月20日は9:00~21:30 (この間は無休)
 入場料: 高校生以上 ¥200
 小学生以上 ¥100
 団体割引あり
 休館日: 毎週火曜日 (火曜日が祝日の場合、その翌日)、年末年始



美郷ほたる祭り 開催期間 / 5月下旬~6月中旬

1か月間、16の鑑賞ポイントで多くのホタルを見ることが出来ます。強い光に弱いホタルを守り、マイカー利用による排気ガス等からも自然環境を守るため、JRと提携し、阿波山川駅より無料シャトルバスを運行しています。



ほたる籠づくり



生涯学習の一環として、昔懐かしいほたる籠の作り方を教える活動も行っています。老若男女問わず人気の民芸品作りです。

高開石積みシバザクラ祭り

開催期間 / 3月下旬~4月中旬

ウォーキングイベントも行っており、美郷を歩きながら花や山野草の説明、地域住民しか知らない花見スポットの案内と湯茶の接待で迎えてくださいます。



高開石積みライトアップ 開催期間 / 12月中旬

美郷は、全国でも美しい石積みを遺す数少ない地区で、にほんの里100選にも選ばれています。光の演出によって美郷の冬空に浮かび上がる優美で幻想的な石積みをどうぞお楽しみください。



NPO法人 美郷宝さがし探険隊

理事長 棟本 誠二

〒779-3501 徳島県吉野川市美郷字宗田 82-1 (美郷ほたる館内)
 TEL: 0883-43-2888
 Mail: hotarukan@cnet-oe.ne.jp
 Web: http://www.tcu.or.jp/misato/hotaru/

徳島県内で国際交流・協力活動を行っている「徳島県青年海外派遣の会」は、かつて国・徳島県が先進国研修、国際交流のために行ってた青年の海外派遣事業の事後活動として発足しました。会長である山田憲さんご自身も、この事業での海外派遣の経験者です。他国で受けた親切のお礼に、今度は自分たちが海外からの研修生にできる限りおもてなしをしようとの思いで活動されています。

活動の中心は、JICA四国が実施する青年研修事業の受託団体として、発展途上国の青年を受け入れる2週間の研修プログラムの企画・運営です。

山田さんは、言語的コミュニケーションが築かれることはとても重要なことですが、言葉を理解すること以上に最も大切なのは、相手のことを本当に知ろうとする気持ちであり、相手に対して関心を持つこと、その気持ちがあれば大丈夫だとおっしゃいます。

思い出深い出来事もありました。ある研修生は、離婚の危機のさなかに単身来徳していました。山田さんは、辞書を片手に身振り手振りで約3時間、奥さんのことを考えて、彼女に似合う日本ならではのお土産をプレゼントしてみても?とアドバイス。すると、帰国後すぐ「妻が戻ってきてくれた。関係が修復できたから、ケンに報告しようと思っ」と、うれしい報告の電話がありました。

「人は出会ってなんぼ。一人の外国の方を目の前にして、どっちが先に笑えるかなんです。日本人だろうと外国人だろうと人間だから通じ合う部分は一緒。ともに笑い合い、一緒に共感できる場が生まれたらきっと距離が近づくとおっしゃいます。」と、思いを話される山田さん。

山田さんは、出会えた人たちと再会できる機会を作りたいとも考えています。2週間の研修が個人的な満足に留まるのではなく、その成果が、彼らの国でどう活かされているかにとっても関心があり、その部分を大



徳島県青年海外派遣の会 (TIYEA)

やま けん
会長 山田 憲さん

連絡先 090-7144-0069 E-mail ckdqx979@ybb.ne.jp

切にするためにも、出会った人たちとのつながりを維持することは大事だとおっしゃいます。

また、「外国人にとっても住みやすい徳島に」という将来像も抱き、実現に向けて外国の方との交流イベントも構想していることです。会は、会員相互の親睦を図り、国際理解を深め、国際親善に寄与し、広く地域社会に貢献することを目的に活動しているので、海外に行った経験がなくても、活動に共感し一緒にやってみようという思いのある方なら参加や入会はいつでもウェルカムだそうです。

海外派遣の会以外にも、複数のボランティア活動に精力的に携わっている山田さん。研修の受入先となってくれる事業所や、活動を理解してくれるご自身の職場、また、様々な分野から派遣の会に集まった強力な仲間への感謝の気持ちをていねいに語る姿が印象的でした。

くすりのご相談は
かかりつけ薬局へ!



一般社団法人
徳島県薬剤師会
会長 水口 和生
TEL 088-655-1100
FAX 088-655-6991

「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人
徳島県歯科医師会
徳島市北田宮1-8-65
電話 088-631-3977



シリーズ・このひとから

地元の宝で地域をひとつに

江原北小学校の子どもたちとともに
～伝統野菜「美馬太きゅうり」を守り伝える～

夏子いなか市 代表 祖父江 利江



私たち夏子いなか市管理運営協議会は、地域の人が集う魅力ある産直市をめざし、地域の食材を生かした加工食品の製造・販売や定期的なイベントの開催、量販店での出張販売に積極的に取り組んでいます。そのひとつに、江原北小学校の子どもたちの活動への支援があります。

地元の宝である江原北小学校の子どもたちは、美馬の伝統野菜「美馬太きゅうり」を育て伝える活動に取り組んでいます。私たちは、そのお手伝いとして、「美馬

太きゅうり」を使っての料理教室や夏子いなか市での子どもたちの販売体験を行っています。料理教室では、地域の人たちの協力を得て、冷や汁や塩麴漬けを作り、おいしくいただく知恵を子どもたちに伝えています。

また、販売体験では、子どもたちが幟を振りながら呼び込みをし、笑顔でお客様を迎えます。自分たちの手で栽培した「美馬太きゅうり」を説明しながら販売する姿、お接待として冷や汁を振るまう姿は、地域に誇りを持ち輝いています。私たちは、夏子いなか市を地域の

活動拠点として、地元の宝、江原北小学校の子ども達とともに、これからも伝統野菜「美馬太きゅうり」を守り伝えていきたいと思ひます。

「夏子いなか市」

住 所：美馬市脇町字西俣名 2585-11
営業時間：8：30～17：00
定休日：月曜日（祝日の場合翌日）
TEL.0883-52-5519



祖父江利江さん(左)



笑顔と繋がりを大切に!

勝浦町社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター 平山 一代

私がボランティアコーディネーター配属になり1年が経過しました。最初は研修会等に参加しても聞きなれない用語が飛び交い、不安と戸惑いの連続でした。研修会や行事などを通して知識向上に努めてはいますがまだまだ未熟で先輩に助けられる毎日です。配属当初に比べ多くの方と出会い、ボランティアさんとお話する中で励ましや情報を得る機会も増えました。また、他の社協のボランティアコーディネーターの皆さんの頑張りに多くの刺激を受け、アドバイスを頂けることや繋がりを嬉しく、また有り難く感じています。

昨年度は町や婦人会と合同で第1回の防災講座を実施しました。内容は、移動大釜での炊き出し体験と講演でしたが大盛況で町民の防災に対する意識が予想以上に高いことが実感できました。また、ハイゼックス袋使用でのカレーライスも好評で、終了後のアンケートでは、定期的にこういった訓練を開催してほしい

との意見が多く聞かれ、本年度は更に分野を広げ体験コーナー等を作り、観て、体験して防災意識を向上させてもらう予定です。

今後は他の団体や機関等との協働も大切にしながら多様な町民参加型のセンターを目指したいです。そして業務を楽しみ、笑顔を大切に、信頼されるボランティアコーディネーターになれるよう努力していきたいと思ひます。



平成25年4月1日
勝浦町社協入局
書記・ボラコとなる。
現在2年目。



ハイゼックス炊飯体験



防災講座

とくしま県民活動プラザが、7月20日、徳島県の「認定」を受け「認定NPO法人」となりました!

認定NPO法人は、

- 個人が寄付をした場合 → 確定申告をすれば、税金の還付を受けることができます。
(寄付金額-2000円) × 最大50%
- 法人が寄付をした場合 → 損金算入限度額の枠が拡大されます。
- 相続人が寄付をした場合 → 寄付をした相続財産が非課税になります。
- 認定NPO法人自身が法人税法上の収益事業を行った場合 → 「法人税の軽減措置」を利用できます。
平成26年度は、みなさまからのご寄付により、NPO等が行う10事業に助成を行いました。「寄付」というかたちで、あなたも社会貢献活動に参加してみませんか。
※ 詳しくは、とくしま県民活動プラザにお問い合わせください。



子どもがいきいきと働く”まち” 「ぷらざタウン」を開催しました!

「ぷらざタウン」は、子どもたちがNPOやボランティア活動の専門家から仕事を教わり、いきいきと働く”まち”です。8月17日(日)、マリンターミナルで開催された「ぷらざタウン」では、延べ100人以上の子どもたちが、18の団体から社会貢献の役割などを学びました。

NPOやボランティア団体の方たちや、その活動との、初めての出会いになった子どもたちも多かったと思います。この体験が、将来の活動につながってほしいと感じました。



イベントガイド

ボランティア活動いろは塾のご案内

ボランティア活動の基礎知識を楽しく学びながら、地域の支えあい活動に取り組む担い手の養成を目的に実施します。6会場で実施しますので是非ご参加ください。詳細につきましては下記事務局までお問い合わせください。

- 10月3日(金) 13:00~16:00 うだつアリーナ2階集会室(美馬市)
18:00~21:00 とくしま県民活動プラザ研修室(徳島市)
- 10月4日(土) 9:30~12:30 阿南市文化会館・夢ホール研修室2(阿南市)
- 10月23日(木) 13:00~16:00
吉野川市鴨島公民館会議室2・3
18:00~21:00
藍住町福祉センター2階研修室
- 10月24日(金) 9:30~12:30
美波町日和佐老人福祉センター



問い合わせ先: 徳島県社会福祉協議会
とくしまボランティア推進センター内
TEL.088-664-8211 FAX.088-664-5345
講師 大阪ボランティア協会 常務理事 早瀬 昇さん

第10回 NPO・ボランティアフェア (3世代でNPO・ボランティア体験!)

おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子どもたちもみんなで社会貢献活動を体感しよう!!

日時: 平成26年11月3日(月)
時間: 10:00~16:00

開催場所: 新町川水際公園

主催: とくしまNPO・ボランティアフェア 実行委員会

※ 詳細については、とくしま県民活動プラザのホームページをご覧ください。 <http://www.plaza-tokushima.com>

【出展団体募集中!】

団体の活動紹介、活動により作成された物品の販売など、活動PRのチャンスです! みんなで一緒に盛り上げましょう!

対象: NPOやボランティアなど社会貢献活動を行っている団体

参加費: 1団体 500円 募集团体数: 30団体

申込方法: 第10回とくしまNPO・ボランティアフェア出店申込書(プラザホームページ、窓口で配布)に必要事項を記載の上、持参、郵送、FAX、またはEメールでお申し込みください。



徳島県台風11号・12号災害義援金の募集について

台風11号・12号がもたらした豪雨により被災された方を支援する災害義援金を募集しています。

実施期間: 平成26年8月27日(水)から10月31日(金)まで

受付・問い合わせ先: 徳島県(地域福祉課) TEL.088-621-2171

社会福祉法人徳島県共同募金会 TEL.088-652-0200

日本赤十字社徳島県支部 TEL.088-631-6000

第14回ボランティアコーディネーター研究集会inとくしま実行委員会からのお知らせ

「第14回ボランティアコーディネーター研究集会inとくしま」の呼びかけにより、被災地支援に役立てるため募金活動を行いました(15,064円)。皆さんのお気持ちを、徳島県共同募金会を通じて「平成26年徳島県台風11・12号災害義援金」として被災地支援に役立てていただきます。

ハートリレー

No.28 新居さんから長谷川さんへ



特定非営利活動法人 眉山大学理事長
はせがわ しんり
長谷川 晋理さん

「直感即行動」

地域コミュニティの立役者

4年前に、母親の家業の手伝いに徳島市にやって来ました。商店街の事業委員長としての地域起こしの活動が精力的で素晴らしく、感心することがたくさんあります。2011年には「特定非営利活動法人眉山大学」を開校し、地域コミュニティで大活躍しています。徳島のまちを舞台に、学ぶことを通じて色んな仲間を作り、「まち」で学び、「まち」で遊ぶ、楽しみを共有することをコンセプトに社会貢献活動をしています。ダンボール和船作り等はその典型ではないでしょうか。

何事にも決断が早く、先頭に立って行動する姿は私も見習わなくてはと思っています。彼が皆に慕われていることは、昨年のLEDアートフェスティバルでのサプライズで、ボランティア仲間が彼に内緒で美人の奥さんとの結婚式を開いたことでもわかります。今後も、徳島の町が明るくなる企画運営を期待しています。



に い た だ し
文・新居 直

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成26年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

補償金額 (保険金額)		年間保険料		
保険金の種類	プラン	タイプ	プラン	
		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)	

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ*		460円	690円

*天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをした。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこぼした。(賠償責任の補償)
- 自転車ボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

● お申込み、詳しい内容のお問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人
全国社会福祉協議会
(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社
TEL:03(3593)6245

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。



NPO法人 赤い屋根 上板



理事長 西條 仁さん(左)
事務局長 本淨 敏之さん(右)

■ 設立について

NPO法人赤い屋根上板は子育てを応援する活動を行っています。

平成14年頃、教員のOB・OGの会が地元の中学生を側面的に見守ってこうと始めたことが、現在の子育て支援活動につながっています。そして、より幅広く活動できるようにと、昨年3月、NPO法人赤い屋根上板を設立しました。

■ 現在の主な活動とこれからのビジョン

従来の活動に加え、新しく取り入れた子どもの総合体験では、米作りや芋作り等を行っています。そこでは幅広い世代との交流ができたり、本来は子どもが成長する過程で当たり前であった自然体験ができます。「実際に体験することで、それが生きる力になってくれたら」と言います。9月以降には稲刈りや、芋ほりをして焼き芋を作って食べたり、12月には収穫した米で餅つき大会と楽しい行事が待っています。

これからの課題は、子育て支援の輪をどう広げていくかです。「現在の活動の中で、体験をした子どもがその体験を積み上げ、また下の学年の子どもに支援をしていく人間関係ができれば」と言います。活動を続けていけるのは、普段見ることのできない子ども達の楽しそうな姿を見ることができると話してくれました。

NPO法人 赤い屋根 上板

設立年月日・法人格取得年月日/2013年3月27日
〒771-1347 徳島県板野郡上板町高瀬789
TEL.FAX: 088-694-2475
E-mail: honjiyou.toshiyuki@taupe.plala.or.jp

編集後記

私たちが広報誌を通して何を伝えていくのか?今年度は、様々な活動を生み出してきた「ひと」の思いを伝えていきたいと思ひます。社会を見つめた時に感じる課題意識やどんな社会を目指していくのか、そのためにどう変えていくべきなのかという活動の背景にある思いを伝えていくことで、よりその活動が広がりや深みを見せていくのではないかと思います。取材の中で、私たちの歩みが文化になるという言葉をお聞きしました。NPOやボランティア活動の歩みが、徳島のよりよい文化を作り上げていくことを信じています。(吉野)

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

4つの機能で応援

1.情報収集・提供

団体のチラシや会報、活動がわかる情報を広く発信。また、企業・行政の助成金・各種研修会などの情報や関連図書・ビデオも収集しています。(ホームページ、広報誌、図書コーナー、団体情報、各種助成情報)

2.活動・交流の場

グループでの会議や活動のPRに必要なチラシやポスターなどの作成のため設備を整えています。(ミーティングコーナー、会議室、パソコン、コピー機、作業室)

3.相談・支援

ボランティア・NPOに関する質問・ご相談にお応えします。

4.人材育成・研修

団体が力をつけるための研修会やイベントを実施します。(各種講座、ぶらざタウン、NPO・ボランティアフェア)

●プラザ開館時間

開館時間:10:00~18:00

【研修室利用時間】

火曜日~土曜日:10:00~21:00

日・祝日:10:00~18:00

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



●公共交通機関をご利用の場合●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
- ・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリナーミナル」下車すぐ
- ・「沖洲・南海フェリー前(マリニア経由)」行きに乗車「マリナーミナル前」下車すぐ

ありがとうございます
ごさいます

【預託】
【寄付】

- 川本哲様より、デジタルカメラ(中古)のご寄贈
- 霊友会「おもいやり連鎖運動」徳島県推進委員会様より、社会福祉法人ルミエール特別養護老人ホーム穂波園へ車椅子のご寄贈
- 徳島県阿波牛販売推進協議会様、徳島県食肉荷受株式会社様より、県内児童養護施設へ阿波牛肉のご寄贈
- 全国農業協同組合連合会徳島県本部様、JA徳島農政協議会様より、県内児童養護施設へ阿波そば(「コシヒカリ新米」)のご寄贈
- 森興産株式会社スエヒロボウル様
- トクシマフィットネスラボ様
- 日本郵政グループ労働組合ユースネットワーカー様

福祉教育 いろは塾

今回は、「赤ちゃん抱っこ」福祉教育プログラムの例を紹介いたします。

A中学校では、以前より養護教諭が「いのち」をテーマにした性教育の授業を展開してまいりました。この授業に注目し、第5次に実際の赤ちゃんとその親の参加を提案しました。厚生労働省の報告では、赤ちゃんに触れ合った中・高校生の自己効力感が高まったり、他者への思いやりが向上したりすることが指摘されているからです。

このプログラムで実際に赤ちゃんが教室に入ってきた時、いつもの教室の空気が柔らかい雰囲気になりました。日ごろは反抗的であったり、引っ込み思案であったり、と様々

な姿の中学生ですが、素直にそして積極的に赤ちゃんに交流するのです。赤ちゃんが来るからと、教室の換気を自主的にする生徒、爪を切ってくる生徒、マスクを自ら持参する生徒などが出現しました。そして、赤ちゃんを取り巻く家族の様子を見、家族の話を聞きます。中学生たちは、赤



「赤ちゃん」抱っこの福祉教育には、次の3つの目当てがあると云えます。

- 1 中学生の自己成長を促すこと
- 2 中学生のプレ親体験
- 3 地域子育て家庭への支援

このような人と人との生の触れ合いが、社会性や他者に対する共感性などを育てるのです。

赤ちゃんの重みと温かさを抱っこし、自分自身の育ちを振り返り、自分がここに存在する意味を理解していくように思われます。

一方、赤ちゃんの親は中学生の姿を通して、子育ての先の見通しを立てることが可能になります。また、子育て中の孤立を防ぐこともできます。

人は、子どもが生まれたからといって、誰もがすぐに「親」になれるわけではなく、子どもが育つと同じように、「親」として育っていきます。親育ちの過程にいる人たちにとっても福祉教育となるのです。

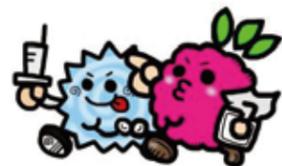
このような体験を授業だけに終わらせず、空き教室を開放するなどして、地域の親子がでさるなら、子育て家庭と中学生との継続的なかわりの可能性を創出できます。

福祉教育の実践

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科
准教授 野尻紀恵



徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会
会長 川島 周
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLEANUP 吉野川をきれいに!
参加団体、募集中。

吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
徳島県民サービスセンター内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2822
E-mail office@yoshinogawa.org/
http://www.yoshinogawa.org/

これからも、いつまでも

頼りがいのある銀行として、
地域のみなさまとともに歩んでまいります。



みなさまの「にころ」のメインバンクへ
阿波銀行
http://www.awabank.co.jp/

環境にやさしい銀行を目指し
環境保全活動に取り組んでいます。



つぎあえび とくぎん
徳島銀行
http://www.tokugin.co.jp

**西部
ブロック**

- ・7月12日(土)
- ・美馬福祉センター
- ・参加者:社協/127名・行政/3名
弁護士/2名・ボランティア他/3名 計135名



社協が取り組む総合相談

この訓練では、被災者の生活全般、介護予防、生活困窮等も含む事象の奥にある暮らしの視点に立った、社協でなければできない支援を行うことを目的として開催しました。

午前は、「災害時に市町村社協が行う10のこと」と題し、官民協働、多機関協働、広域連携を取り入れた運営体制づくりを心がけ、増大する地域課題、複合多問題の解決に貢献する事など御講義いただきました。その後各

緊急連絡会議
社協役員・管理職を中心
に最初の方向性を示す重
要な緊急連絡会議を行い、
混乱した中でいかに情報
を集め、分析し、組織とし
ての意思決定、全職員へ
伝える情報共有の仕方、
どのタイミングで何を判
断するのかなど、それぞ
れの社協で白熱した会議

職種別に困難事例の検討
が行われました。

午後は訓練に至るまで
に、中核スタッフを中心に
災害を切り口に心の奥に
隠された複合多問題の困
難事例を想定し、発見する
プロセスを大切にしながら
作成した事例を元に職
種別に検討を行いました。
それぞれの立場からの対
応を共有することで、社協
の専門性だけで対応する
事の難しさ、既存の物だけ
につなぐのでは無く、ニー
ズに応じて形を作り上げる
こと、周辺資源に日ごろか
ら関わること、また、本人
だけに焦点を当てすぎず地
域の実情、地域の支え合い
はどうなっているのかを視
野に入れて、改めてこの訓
練を通じて日常的な社協
ネットワークの強化、総合
相談支援力の強化に伴う
多職種・多機関の連携の
重要性について共通理解を
図ることができた訓練とな
りました。



ホームヘルプ



**TLG グランプリ
手作りランプ
グランプリ**

西部ブロックに参加して
災害 VC の運営のみならず、き
ちんと被災された方の生活を支
える命をしっかりと守っていき
という事に視点をあてた研修が
素晴らしくて、群馬に持って帰
りたいと思いました。



前橋市社会福祉協議会
高山 弘毅さん

社協の総合相談 支援対応力向上事業
平成26年度 東部・南部・西部ブロックにおける合同模擬訓練



徳島県社会福祉協議会では、Facebookを大震災発災時等において迅速かつ、効果的な情報収集・発信のツールとして活用できるよう、平成26年6月27日に開設しました。今後、徳島県・市町村社会福祉協議会の情報を発信していきます。

- ・徳島県社会福祉協議会の公式ホームページ
<http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/>
- ・徳島県社会福祉協議会 FB ページ「福祉のまちづくり」
<https://www.facebook.com/tokushima.syakyou>

**南部
ブロック**

- ・6月29日(日)
- ・阿南市文化会館 2階研修室
- ・参加者:社協/52名
自主防/142名・行政/9名
・阿南防災士会/23名
・弁護士/2名 計/228名



自主防災組織・南部ブロック社協による
ワークショップ

また、自衛隊による炊き出し昼食、南部ブロック社協+県社協の6社協が出品したトレイグランプリなどのアトラクション的な要素も取り入れる工夫もして見ました。

今回の事業を終えて感じたのは、地域

そういつた事から、今回の自主防災組織対象防災講座では、多くの自主防災組織の方に社会福祉協議会の存在を知っていただき、今後、相談のいただける良い機会を作れたと思います。



自衛隊による炊き出し

自主防災組織との連携強化

南部ブロックでは、今回、「他機関との連携を強化すること」を目的に事業を計画しました。その中で候補に挙がったのが自主防災組織との連携で、まずは「最初のきっかけづくり」として、多くの自主防災組織の方に参加をいただけるよう、『自主防災組織対象防災講座』を行う事にしました。

内容として、午前は石井先生の「これからの自主防災組織のあり方」と題した講義と、活発に活動している自主防災組織の発表会、午後からは南部ブロックで提案したワークショップに臨んでいただきました。要点は去年から引き続き「要援護者支援」であり、先生の話やワークショップの中でも、災害時要援護者を意識できる内容を心がけました。

T1 グランプリ
工夫を凝らした
手作りトイレが
出品されました!



3回目の訓練となった今年、すべて拝見させていただいているんですが、大きな進化・進歩を感じて感動しています。来年から介護予防や生活困窮などいろいろな難しい課題にチャレンジしますが、その根っここの力として災害の対応が進んでいることを嬉しく思っています。

NPO 法人さくらネット
石井 布紀子さん

**東部
ブロック**

- ・6月28日(土)
- ・藍住町福祉センター・富吉児童館
- ・参加者:社協/110名・ボランティア/20名
地区協/42名・学童児/13名・弁護士/2名
・関係者/42名 計229名

地域のリーダー養成

今回は板野郡5社協が運営主体となり、参加者一人ひとりの学びを地域の活動につなげることを目指し、より実践的なプログラムとしました。

スキルアップ講習では土の作りとiPadの使用方法について、協力団体や経験者による細やかなサポートを受けて体験しました。

災害ボランティアセンター運営では各班の対応とともに、災害ボランティアの受付からマッチング、資料受け渡し、送り出しという一連の流れを実際にボランティアに動いてもらい確認しました。現地活動にはスキルアップ講習の内容を組み込みました。また県内の訓練では初めてサテライトセンターを設置し地区協ボランティアによる運営を行いました。本部との連携を確認しつつ相談窓口としての社協の役割を周知しました。



災害時要援護者ニーズ聞き取り訓練



iPad 講習

**T2 級
グルメ大会**
栄養を考えた
色とりどりの
メニューが
並びました。
レシピ本も
作成!

